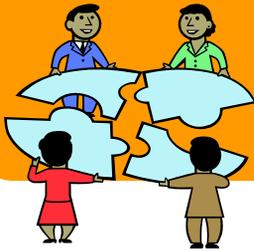


かわら版



◇「近所の気になること」 どんなこと？」

「近所」から「みんな」へ

平成26年10月7日（火）アルヴェエを会場に、「エイジフレンドリーシティカレッジワークショップ」の第4回目が開催されました。前回意見交換をした「近所（生活圏）の気になること」を再度確認し、さらに追加の意見交換をしました。新たに出された「気になること」は以下の内容です。

- ① 自主防災組織が無い。防災意識が薄い。
- ② 子どもの見守りをどうするか。
- ③ まちの中にトイレが無い。
- ④ ゴミ出しのマナーが悪い。カラスの問題。
- ⑤ お墓をどうするか？
- ⑥ 町内の世話役・キーマンがいない。
- ⑦ 若者が活躍する場が無い。

居住地域は違っても、共通する「地域の課題」がたくさん見えてきました。みんなが住みよさを感じるためには、どのような取り組みが必要なのでしょう？



後半は「地域課題を解決するため、自分たちでできること、自分ができること」をテーマに3グループに分かれて意見交換を行いました。

楽しみながら
取り組めることって
あるかな～？



ワークショップではこのような意見が出されました、

- グループ①**：「地域の人のつながり作り」をキーワードに。空き家を活用し、無料で使える集いの場にしたらどうか。
- グループ②**：秋田市内に建設されている7カ所の市民サービスセンターで、年間を通して対抗戦を行ったら楽しいのでは。たとえばスポーツや芸能など。そこに体協が関われば若い人の活躍の場もできる。「体協と福祉」のコラボも面白いのでは。
- ※「体協」：日本体育協会。国民のスポーツ振興を図るための全国組織。
- グループ③**：町内会役員が高齢化しているので、40代・50代の人に楽しく関わってもらえるような仕掛けをしたい。子どもと一緒に参加できるセミナーなどあれば足を運びやすいのかも。

次回最終回ではアイデアを具体化する手法と協働について考えます。